

評価結果と公表・通知事項について（案）

検証アンケートにおいて、複数の法人・評価者が評価結果を分かりやすく示してほしいと考えている。

《評価結果と公表・通知事項に係る主な意見》

【評価全体】

- 社会が理解しやすい公表の仕方を検討してほしい

【中期目標の達成状況評価】

- 評価結果をより詳細に説明してほしい
- 「改善すべき点」などの些末な点ではなく、法人の全体的な状況を示す方法を検討すべき

【学部・研究科等の現況分析】

- 判定結果を導き出した理由を具体的に記述してほしい
- 評価結果が簡略すぎる

《評価の方向性》

- 社会や法人へより分かりやすく評価結果を示すため、評価報告書の記載内容について以下のとおり変更する。

【中期目標の達成状況評価】（資料3-6参照）

- (1) 評価結果報告書に目次を設ける。(①)
- (2) 「法人の特徴」欄を、新たに設け、法人が作成する実績報告書に記載された「法人の特徴」を転載する。法人は、実績報告書の「法人の特徴」欄に、中期目標前文である「基本的な目標」を必ず記載する。(②)
- (3) 達成状況評価結果を総括する項目として「評価結果《概要》」を新たに設ける。「評価結果《概要》」には、判定結果の一覧表、及び、主な特記すべき点を記載する。(③、④)
- (4) 中期目標の3階層（「大項目」「中項目」「小項目」）について、明記する。(⑤)
- (5) 小項目との関連を明示するために、「特記すべき点」の冒頭に小項目の内容を記述する。(⑥)
- (6) 評価結果の末尾に「判定結果一覧表」を新たに付す。「判定結果一覧表」には、中期目標の内容及び判定結果、中期計画の内容及び判定結果、「特記すべき点」に取り上げられた中期計画との対応を記載する。(⑦)

【学部・研究科等の現況分析】（資料 3－7 参照）

- （１） 現況分析結果を総括する項目として「学部・研究科等の教育に関する現況分析結果（概要）」を新たに設ける。「学部・研究科等の教育に関する現況分析結果（概要）」には、判定結果の一覧表、及び、注目すべき質の向上を記載する。（①、②） ※研究についても同様に記載
- （２） 分析項目ごとの評価結果について、「質の向上度」の判断理由を具体的に記述する。（③）
- （３） 研究業績水準判定結果の概要を「研究成果の状況」の「判断理由」に記載する。（④）